



第1期 横浜市文化財保存活用地域計画

(計画期間：令和6年度～11年度)

実施報告書

教育委員会事務局

生涯学習文化財課文化財係

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

方針① 調査の充実と適切な保存

施策Ⅰ 文化財の把握調査、詳細調査などの実施

1. 実績

【凡例】※1…令和4年度実績、基準値
※2…令和11年度実績

指標	計画 掲載※1	実績値（各年度）						目標 値※2
		6	7	8	9	10	11	
専門機関等と連携した文化財の把握調査、 詳細調査件数（単位：件/年）	7	16	15					10
無形民俗文化財保護団体の現況調査件数 （単位：件/年）	1	2	5					5
指定等文化財の巡回調査件数（単位：件/年）	8	10	10					10

2. 取組の成果

- ・市指定文化財の指定に向けて、文化財保護審議会各部会で指定候補等の調査を行った。（R7：3件指定）
- ・未指定及び神奈川県指定文化財、無形民俗文化財保護団体等の5団体の把握調査・現況調査を実施し、活動状況の確認や、活動に際しての課題の聞き取り等を実施した。

3. 今後の予定

- ・内水面試験場からは撤収したが、寺家ふるさと村四季の家、東海大学に加え、新たに日本大学に委託し、引き続きミヤコタナゴ保護増殖を実施する。
- ・引き続き調査員による天然記念物や無形民俗文化財に関する調査を実施し、今後の保護施策につなげる。



銅造 聖観音菩薩坐像
（R7市指定文化財）

■施策2 埋蔵文化財調査の実施

1. 実績

指標	計画 掲載	実績値（各年度）						目標 値
		6	7	8	9	10	11	
土木工事等に伴う試掘調査件数 (単位:件/年)	13	26	23					36

2. 取組の成果

- ・市内該当地区において、記録保存のため発掘調査を実施した。また、埋蔵文化財センターにおいて、遺物を約500箱実見して出土品等再整理作業を実施した。
- ・埋蔵文化財包蔵地外の市内該当地区において、試掘・確認調査を実施した。

3. 今後の予定

- ・引き続き、工事等に伴う発掘調査及び出土品等再整理作業を実施する。
- ・市ホームページに掲載した手引き「横浜の埋蔵文化財」を制度改正等に応じて随時改訂する。



発掘調査の様子



試掘調査の様子

方針① 調査の充実と適切な保存

施策3 制度による保護の推進

1. 実績

指標	計画 掲載	実績値(各年度)						目標 値
		6	7	8	9	10	11	
文化財保護法・条例に基づく指定・登録文化財の指定・登録数(単位:件)	476	492	497					487
歴史を生かしたまちづくり要綱に基づく認定歴史的建造物の認定数(単位:件)	100	104	107					105

2. 取組の成果

- ・横浜市開港記念会館(国重要文化財)、三溪園(名勝)において、保存活用計画を策定した。
- ・文化財所有者・管理者に対し、文化財の管理・活用状況等に関するアンケートを実施し、現状の把握を行った。



三溪園



横浜市開港記念会館

3. 今後の予定

- ・国や民間企業等からの補助金情報を、随時、市ホームページへ掲載する。
- ・引き続き、文化財保護法・条例に基づく指定・登録文化財の指定、歴史を生かしたまちづくり要綱に基づく認定歴史的建造物の認定を行う。

方針① 調査の充実と適切な保存

施策4 文化財の防災対策

1. 実績

指標	計画 掲載	実績値（各年度）						目標 値
		6	7	8	9	10	11	
文化財を対象とした消防訓練の実施 （単位：件/年）	22	21	22					22
史跡等の崖地の安全対策着手件数 （単位：件/年）	5	5	5					5

2. 取組の成果

- ・市内文化財を対象とした消防訓練や防火・防災関係のチラシ配布、消防設備の維持管理等を検査する立入検査を実施した。
- ・国指定史跡朝夷奈切通崖地防災工事等、史跡等の崖地の安全対策を5件実施した。

3. 今後の予定

- ・史跡等の崖地安全対策を計画的に実施する。
- ・令和7年度作成した文化財防災マニュアル（ハンドブック）の印刷配布、HPへの掲載により所有者へ周知する。



文化財防災ハンドブック



總持寺の消防訓練風景

方針① 調査の充実と適切な保存

施策5 収蔵施設の整備

1.実績

指標	計画 掲載	実績値（各年度）						目標 値
		6	7	8	9	10	11	
出土文化財の新たな収蔵場所の確保	-	検討	検討					確保

2. 取組の成果

- ・埋蔵文化財センター及び博物館等の収蔵場所確保に向けて、（公財）横浜市ふるさと歴史財団と連携し、廃校等の施設の活用を検討したほか、収蔵場所の整理を実施した。

3. 今後の予定

- ・（公財）横浜市ふるさと歴史財団に収蔵量等の現状を確認しながら、引き続き、収蔵場所の確保に向けた検討・調整を進める。



収蔵庫整理前



収蔵庫整理後

方針② 文化財の特性に応じた活用の推進

施策6 博物館に来館した児童・生徒数

1. 実績

指標	計画 掲載	実績値(各年度)						目標 値
		6	7	8	9	10	11	
博物館に来館した児童・生徒数 (単位:人/年)	80,913	79,634	80,633					82,000
文化財を活用した訪問授業の参加者数 (単位:人/年)	12,317	15,023	17,942					13,000
博物館における講演会・講座の実施件数 (単位:回/年)	44	57	59					48

2. 取組の成果

- ・横浜市三殿台考古館等文化財5施設について、第4期指定管理者の選定を行った。
施設管理として、老朽化等に伴う修繕工事を行った。
- ・所有者や(公財)横浜市ふるさと歴史財団、横浜国立大学の協力を得て、
国指定重要文化財関家住宅の特別公開を実施した。

3. 今後の予定

- ・神奈川県立金沢文庫において、金沢区民のための歴史講座や金沢を知る講演会を引き続き開催する。
- ・引き続き、児童・生徒の博物館来館を受け入れるとともに、来館を促すための広報等を実施する。



関家住宅特別公開

方針② 文化財の特性に応じた活用の推進

施策7 地域活動の活性化

1. 実績

指標	計画掲載	実績値（各年度）						目標値
		6	7	8	9	10	11	
文化財を活用した地域活動の推進	-	推進	推進					推進

2. 取組の成果

- ・公益社団法人神奈川台場地域活性化推進協会と市が協定を締結し、神奈川台場に関するVR、AR、郷土学習映像を作成した。
- ・歴史的建造物や遺構を巡るウォーキングガイドや、文化財等を活かしたイベント等を実施した。（各区）



神奈川台場VR



港北オープンガーデン

3. 今後の予定

- ・昨年度に延べ4万人参加した、港北オープンガーデンを開催する。
「大倉山 花と緑の歴史ツアー」では、記念館等の区内の歴史的な見どころ等をめぐりながら、季節のお花を楽しむことができる。
- ・文化財を活用したイベント等を開催し、文化財への理解促進、地域への愛着を醸成する。（各区）

方針② 文化財の特性に応じた活用の推進

施策8 歴史を生かしたまちづくり

1.実績

指標	計画掲載	実績値(各年度)						目標値
		6	7	8	9	10	11	
歴史的風致維持向上計画の策定	-	策定	事業推進					策定

2. 取組の成果

- ・旧横浜市庁舎行政棟等3件を、認定歴史的建造物に認定した。歴史的建造物に対する保全活用助成や、維持管理助成を行った。
- ・震災復興橋梁の保全として、西区霞橋灯具の復元工事及び、南区道慶橋の補修工事を実施した。

3. 今後の予定

- ・引き続き、古民家や西洋館などの歴史的建造物を、民間の活力を活用しながら公園内で公開し、市民や来場者が公園の魅力とともに、地域の歴史や自然を感じる機会を創出する。
- ・谷戸の原風景である横浜ふるさと村、舞岡公園、新治市民の森を良好に維持し景観を保全する。
- ・(仮称)旧上瀬谷通信施設公園内に、伝統文化を継承する場として、神奈川県指定重要文化財太田家住宅を移築復原する。



旧横浜市庁舎行政棟



霞橋

方針② 文化財の特性に応じた活用の推進

施策9 文化財を活用した文化芸術活動

1. 実績

指標	計画 掲載	実績値（各年度）						目標 値
		6	7	8	9	10	11	
横浜能楽堂及び大倉山記念館の年間 来館者数合計（単位：人/年）	9.4万	9万	8万					17万
博物館や歴史公園で開催する文化芸術 活動の実施回数（単位：回/年）	20	32	34					26

2. 取組の成果

- ・横浜能楽堂改修工事中の代替企画として、小学校を巡回する「狂言と能の出前講座」を実施した。
- ・称名寺境内において、能や狂言の舞台である「第28回称名寺薪能」を開催した。

3. 今後の予定

- ・旧染井能舞台（横浜能楽堂）については、大規模改修工事で休館していたが、令和8年6月末に横浜能楽堂が再開館するため、公演や施設見学会を実施する。
- ・地域の団体と連携し、大塚・歳勝土遺跡公園や横浜市歴史博物館において、引き続き音楽コンサート等の文化芸術活動を開催する。



薪能に合わせて実施
しているライトアップ



旧染井能舞台

方針② 文化財の特性に応じた活用の推進

施策10 文化財を活用した賑わい創出

1.実績

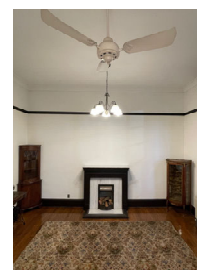
指標	計画掲載	実績値(各年度)						目標値
		6	7	8	9	10	11	
市指定文化財横浜開港資料館(旧英国総領事館)の来館者数(単位:人/年)	32,000	39,734	40,240					112,000
日本丸メモリアルパークの入館者数(単位:人/年)	45万	65万	78万					50万
国指定名勝三溪園の有料来園者数(単位:人/年)	247,415	246,122	265,214					313,000
横浜美術館の来館者数(単位:人/年)	670,112	34万	85万					100万

2.取組の成果

- 横浜開港資料館では、資料のデジタル化を推進した。旧館2階の新展示室の改修や、緑化整備工事を実施した。(文化庁「文化観光拠点計画」はR7年度で終了)

3.今後の予定

- 日本丸において、総帆展帆及び青少年錬成のための「海洋教室」等を開催する。



横浜開港資料館



日本丸 11

方針③ 多様な主体がつながる仕組みづくり

施策Ⅱ 情報の公開・発信の強化

1. 実績

指標	計画掲載	実績値（各年度）						目標値
		6	7	8	9	10	11	
計画に基づく実施報告書の作成と公開	-	-	作成・公開					作成・公開
文化遺産オンラインで登録・公開した文化財件数	-	6	16					100

2. 取組の成果

- ・文化財保存活用地域計画認定後、初めての振返り（令和6年度分）を実施し、文化財保護審議会への報告・HPへの公表等を行った。
- ・「旧東海道戸塚宿の歴史を歩く散策マップ」「戸塚の古道 鎌倉道の歴史を歩く散策マップ」に加え、新たに地域の歴史の入門書として「戸塚の歴史まるわかりBOOK」を発行。小学校や区役所、区内施設、歴史関連イベント等で配布。

3. 今後の予定

- ・令和7年度に「横浜の文化財-横浜市文化財調査概報-」のHP公表を行った。今年度、概報30号を作成し、HPに掲載予定。
- ・過去に作成した歴史や文化財に関連した散策マップやガイドマップ等を引き続き配布・活用を進める。（各区）



戸塚の歴史まるわかりBOOK

方針③ 多様な主体がつながる仕組みづくり

施策12 連携事業の推進と人材育成

1. 実績

指標	計画 掲載	実績値（各年度）						目標 値
		6	7	8	9	10	11	
市歴史博物館における区・地域との連携事業 実施数(単位:件/年)	11	14	9					14

2. 取組の成果

- ・小机城址に関する連携事業として、港北区内小学校への出張授業（3回）実施した。横浜市ふるさと歴史財団がお城EXPOへ出展した。
横浜市歴史博物館にて企画展「北条幻庵」を開催した。
- ・いずみ相模風揚げ会、泉区太鼓・お囃子フェスティバル、横浜いずみ歌舞伎公演を共催した。小・中学校向けの体験授業の実施協力を行った。

3. 今後の予定

- ・三溪園にある旧矢筈原家住宅の修繕工事にあたり、茅葺屋根葺き替えを令和7年度から引き続き実施する。国・県補助事業手続きの支援を行う。
- ・文化庁や県が実施する文化財の保存・活用に関する研修の受講による、文化財課職員の知識の向上に取り組む。



小机城址に関する出張授業



旧矢筈原家住宅

■【参考資料】各指標・取組の詳細について

各指標・取組の詳細については、別添一覧のとおり。

- (1) 指標一覧（兼振返りシート）
- (2) 取組・関連取組一覧（兼振返りシート）

第 1 期 横浜市文化財保存活用地域計画 【令和 7 年度 指標一覧（兼振返りシート）】

【凡例】達成状況
「順調」 令和11年度までの累積目標・令和11年度の年間目標に対し、順調に事業を推進している場合
「遅れ」 令和11年度までの累積目標・令和11年度の年間目標に対し、目標達成に向けて事業の進みが遅れている場合
「達成」 令和11年度までの累積目標を達成している場合
「未達成」 令和11年度までの累積目標・令和11年度の年間目標が未達成な場合（最終年度のみ選択）

方針 番号	施策 番号	指標 番号	指標 【計画に掲載】	直近実績 【計画に掲載】	目標値	主管局	振返り（令和 7 年度）				
				R4年度	R11年度		R7実績	達成状況	達成状況の理由	具体的な取組内容	次年度以降の取組予定
1	1	1-①	専門機関等と連携した文化財の把握調査、詳細調査件数	7件/年	10件/年	教育委員会事務局	15件	順調	各部会で調査を進め、毎年数件ずつの指定ができ、令和11年度目標を達成した。	各部会において、指定候補案件の調査。	引き続き、各部会にて随時調査の実施、文化財保護審議会において、指定に向けた手続きを行う。
1	1	1-②	無形民俗文化財保護団体の現況調査件数	1件/年	5件/年	教育委員会事務局	5件	順調	早期に調査対象団体の選定及び調整を行い、各団体の活動・行事の開催時期、調査員の御都合も考慮しながらスケジュールを立て、確実に目標を達成した。	未指定及び神奈川県指定文化財、無形民俗文化財保護団体等の5団体の把握調査・現況調査を実施し、活動状況の確認や、活動に際しての課題の聞き取り等を実施。	引き続き、無形民俗文化財保護団体を中心に調査を計画的に実施するほか、未指定文化財の把握調査等の継続的な実施により、文化財保護施策の検討につなげる。
1	1	1-③	指定等文化財の巡回調査件数	8件/年	10件/年	教育委員会事務局	10件	順調	計画どおりの事務手続き・調整を行い、令和11年度の年間目標を達したため。	天然記念物7件（9箇所）、無形民俗文化財3件について調査員による調査の実施。	引き続き調査員による調査を実施し、今後の保護施策につなげる。
1	2	2-①	土木工事等に伴う試掘調査件数	13件/年	36件/年	教育委員会事務局	23件	遅れ	R6実績件数より減少したため。	文化財保護法第93条第1項及び第94条第1項に基づく届出・通知が提出された案件について、内容を精査した上で試掘調査の実施。	引き続き対応が必要な案件について試掘調査を実施。
1	3	3-①	文化財保護法・条例に基づく指定・登録文化財の指定・登録数	476件	487件	教育委員会事務局	497件	達成	R11年度までの累積目標を達成しているため	6-10月頃：指定・登録候補文化財調査 10-11月：文化財保護審議会 諮問・答申 12月：横浜市指定文化財の指定（3件）	引き続き指定・登録候補文化財の調査の実施。10-11月に文化財保護審議会を開催し、指定・登録の諮問・答申を行う。
1	3	3-②	歴史を生かしたまちづくり要綱に基づく認定歴史的建造物の認定数	100件	105件	都市整備局	107件	達成	目標に対し順調に認定が進んでいるため	歴史を生かしたまちづくり要綱に基づく認定歴史的建造物の認定（3件）	引き続き制度運用を行う
1	4	4-①	文化財を対象とした消防訓練の実施件数	22件	22件	消防局	22件	順調	令和11年度目標に向けて年間目標を達成したため	市内文化財を対象とした消防訓練やチラシ配布、消防設備の維持管理などを検査する立入検査を実施	引き続き、市内文化財を対象とした出火防止及び消防訓練等を実施
1	4	4-②	史跡等の崖地の安全対策着手件数	5か所/年	5か所/年	教育委員会事務局	5件	順調	計画どおりの事務手続き・調整を行い、令和11年度目標を達成したため。	・国指定史跡朝夷奈切通崖地防災工事実施 ・国指定史跡称名寺境内危険樹木調査 ・県指定史跡稲荷前古墳群工事準備（樹木の伐採・伐根・伐開） ・市指定天然記念物御伊勢山・権現山2・4・2・6の各崖地の詳細調査	史跡等の崖地安全対策を計画に実施する。 ・県指定史跡稲荷前古墳群斜面对策工事 ・市指定天然記念物御伊勢山・権現山測量 ・管理史跡等崖地の詳細調査
1	5	5-①	出土文化財の新たな収蔵場所の確保	—	確保	教育委員会事務局	検討	順調	廃校等の活用の検討を進めた。	埋蔵文化財センター及び博物館等の収蔵場所確保に向けて、（公財）横浜市ふるさと歴史財団と連携し、廃校等の施設の活用を検討したほか、収蔵場所の整理を実施した。	（公財）横浜市ふるさと歴史財団に収蔵量等の現状を確認しながら、引き続き、収蔵場所の確保に向けた検討・調整を進める。

方針 番号	施策 番号	指標 番号	指標 【計画に掲載】	直近実績 【計画に掲載】	目標値	主管局	振り返り（令和7年度）				
				R4年度	R11年度		R7実績	達成状況	達成状況の理由	具体的な取組内容	次年度以降の取組予定
2	6	6-①	博物館＊に来館した児童・生徒数	80,913/年	82,000人/年	教育委員会事務局	80,633人	遅れ	一部施設の休館の影響により、来館者数が減少したため。	団体利用の新たな昼食場所確保。	引き続き来館を受け入れるとともに、来館を促すための広報等を実施。
2	6	6-②	文化財を活用した訪問授業の参加者数	12,317人/年	13,000人/年	教育委員会事務局	17,942人	達成	訪問授業を積極的に周知したことで、令和11年度の年間目標を達成した。	訪問授業の実施。小学校長会等にて訪問授業を積極的に周知することで、参加者数を増加。	引き続き、参加者数が増えるよう周知。
2	6	6-③	博物館＊における講演会・講座の実施件数	44回/年	48回/年	教育委員会事務局	59回	達成	講演会等を多数開催したことで、令和11年度の年間目標を達成した。	展覧会に関連した講演会を中心に、専門職員やゲスト講師を招いての連続講座などを多数開催。	引き続き、多様な組織との連携により、講座や講演会等を開催。
2	7	7-①	文化財を活用した地域活動の推進	－	推進	教育委員会事務局	推進	順調	各区局において地域活動の推進がされたため。	（取組・関連取組一覧参照）	（取組・関連取組一覧参照）
2	8	8-①	歴史的風致維持向上計画の策定	－	策定	都市整備局	策定済み（事業推進）	達成	目標が策定が令和6年度に達成できているめ。令和7年度（策定後）は、計画に基づいた運用を行っている。	・横浜市歴史的風致維持向上計画に基づく事業の推進 ・横浜市歴史的風致維持向上協議会の開催（R8.3）	引き続き制度運用を行う
2	9	9-①	横浜能楽堂及び大倉山記念館の年間来館者数合計	9.4万人/年※1	17万人/年	にぎわいスポーツ文化局	約8万人（大倉山記念館のみの実績）	遅れ	夏の酷暑などにより、来館数が減少したため。 ※横浜能楽堂については、大規模改修工事による休館期間であるため実績なし。	大倉山こどもフェスティバル（5/4実施）、大倉山秋の芸術祭（11月実施）、オープンディ（9月・2月実施）、小さな丘のメリークリスマス（12/7実施）など複数のイベントや講演会の実施。	引き続き、地域との連携を深め、企画を検討・実施。
2	9	9-②	博物館や歴史公園で開催する文化芸術活動の実施回数	20回	26回	教育委員会事務局	34回	達成	連携する文化施設・団体との協働によるコンサート等を開催し、令和11年度の目標を達成した。	連携する文化施設・団体と協働で、コンサートや大道芸イベント、ものづくりワークショップ等を開催。	引き続き、多様な組織との連携により、コンサート等を企画・開催。
2	10	10-①	市指定文化財 横浜開港資料館（旧英国総領事館）の来館者数	32,000人	112,000人	教育委員会事務局	40,240人	順調	前年度に比べ来館者数が増加しているため。	時宜を得た企画（特別公開）の実施や近隣でのイベントへの参加等による施設の周知。	引き続き、近隣でのイベントに参加し、来館につながるよう施設の周知に取り組む。文化観光拠点計画最終年度であることから、翌年度以降により来館者数が増加するような企画等の検討。
2	10	10-②	日本丸メモリアルパークの入館者数	45万人/年	50万人/年	港湾局	79万人	順調	R7の入館者実績が、R11の目標値を大きく上回ったため	音楽イベント等の誘致・開催、戦後80年企画での市庁舎展示の実施。	SNSを活用した広報発信、インバウンド誘客キャンペーンの実施
2	10	10-③	国指定名勝 三溪園の有料来園者数	247,415人/年	313,000人/年	にぎわいスポーツ文化局	265,214人	遅れ	桜期・紅葉期は好調であったが、その他の時期の来園者数が低調であったため。	・桜のライトアップ、観蓮会、観月会、紅葉等、季節に応じた催事の実施 ・記者発表、SNS等を通じたプロモーション	・紅葉ライトアップの再開 ・各催事の磨き上げ ・広報・プロモーションの強化 ・「神奈川・横浜デスティネーションキャンペーンブレキャンペーン」特別企画の実施
2	10	10-④	横浜美術館の来館者数	670,112人/年※2	100万人/年	にぎわいスポーツ文化局	85万人	遅れ	「佐藤雅彦展」の期間において大きく来館者数を伸ばしたが、「おかえり、ヨコハマ展」「いつもとにりにいるから展」は、高い評価を受けたものの、来館者数は伸びなかった。	令和7年2月8日～6月2日：おかえり、ヨコハマ展 令和7年6月28日～11月3日：佐藤雅彦展 令和7年12月6～令和8年3月22日：いつもとにりにいるから展	令和8年4月25日～6月28日：今村紫紅展 令和8年7月24日～11月23日：毛利悠子展 令和8年8月1日～11月23日：マリー・アントワネット・スタイル展

方針 番号	施策 番号	指標 番号	指標 【計画に掲載】	直近実績 【計画に掲載】	目標値	主管局	振返り（令和7年度）				
				R4年度	R11年度		R7実績	達成状況	達成状況の理由	具体的な取組内容	次年度以降の取組予定
3	11	11-①	本計画に基づく実施報告書の作成と公開	—	作成・公開	教育委員会事務局	作成・公開	順調	振返りを作成し、HPへの公表が出来たため。	計画認定後、初めての振返り（令和6年度分）を実施し、文化財保護審議会への報告・HPへの公表等を行った。	計画期間中、毎年度振返りを実施し、文化財保護審議会に報告、HPへ公開する。
3	11	11-②	文化遺産オンラインで登録・公開した文化財件数	—	100件	教育委員会事務局	16件	順調	掲載を進めるための所有者の承諾を得ることができ、掲載作業を進めることができたため。	所有者へ文化遺産オンラインへの掲載承諾を依頼。文化庁よりアカウントを付与していただき、R7新指定文化財等、計10件登録を行った。	掲載の承諾を得た市指定文化財について、掲載作業を随時進める。新指定文化財についても、掲載承諾を依頼し、掲載する。
3	12	12-①	市歴史博物館における区・地域との連携事業実施数	11件/年	14件/年	教育委員会事務局	9件	遅れ	施設の一時休館の影響により、令和11年度の年間目標には届かなかった。	市・区をはじめ多様な団体との間で、パネル展示や訪問授業、ワークショップ等を開催した。	引き続き、地域との連携を深め、企画を検討・実施。

※ 1 基準値は平成28年度から令和元年度の平均 ※ 2 基準値は平成27年度から令和元年度の平均

第1期 横浜市文化財保存活用地域計画 【令和7年度 取組・関連取組一覧（兼振返りシート）】

3つの目指す姿と課題	施策	取組番号	重点取組	主な取組	関連取組名	主管区局	関係区局	関係区局	関係区局	①R7年度 取組実績	②次年度 取組予定
まもる 横浜の歴史文化が市民に受け継がれ、大切に守られている姿 [課題] - 文化財に関する継続的な把握調査・追加調査の実施が必要 - 埋蔵文化財調査の継続的な実施が必要 - 適切な保存のための文化財所有者や管理者に対する支援が必要 - 火災、風水害等に対する防災対策が必要 - 文化財の適切な保管・管理が必要	方針1 調査の充実と適切な保存										
	1 文化財の把握調査、詳細調査などの実施	1-1		市内の文化財の把握調査・詳細調査等の実施	-	教育委員会事務局	都市整備局			・文化財3件の指定に向けて、各部会で指定文化財候補等の調査。 ・天然記念物・無形民俗文化財計10件について、巡回調査の実施。 ・文化財の移築復元や工事にあたって有識者への意見聴取の実施。	・文化財の指定に向け、各部会で随時調査の実施。 ・市指定・登録文化財等の現況と管理状況を把握するため、巡回調査の実施。 ・文化財の保存・活用のための各修繕や工事にあたり、有識者への意見聴取の実施。
		1-2	★	無形民俗文化財保護団体の現況調査	-	教育委員会事務局				未指定及び神奈川県指定文化財、無形民俗文化財保護団体等の5団体の把握調査・現況調査を実施し、活動状況の確認や、活動に際しての課題の聞き取り等を実施。	引き続き、無形民俗文化財保護団体を中心に調査を計画的に実施するほか、未指定文化財の把握調査等の継続的な実施により、文化財保護施策の検討につなげる。
		1-3		指定等文化財の巡回調査	-	教育委員会事務局				天然記念物7件・無形民俗文化財計3件について巡回調査を実施し、現状・課題の把握。	引き続き天然記念物・無形民俗文化財について調査を実施し、現状と管理状況の把握。
		1-4		国天然記念物ミヤコタナゴ保護育成（個体数調査、生育環境調査等の実施）	-	教育委員会事務局				・茅ヶ崎公園自然生態園に委託し、ミヤコタナゴ生息環境保全の実施。 ・神奈川県内水面試験場、寺家ふるさと村四季の家、東海大学に委託をし、ミヤコタナゴ保護増殖の実施。 ・10月に個体数調査の実施。 ・内水面試験場のミヤコタナゴを移動。	・引き続き茅ヶ崎公園自然生態園に委託し、ミヤコタナゴ生息環境保全。 ・引き続き寺家ふるさと村四季の家、東海大学に委託をし、ミヤコタナゴを保護増殖の実施。 ・新たに日本大学に委託をし、ミヤコタナゴ保護増殖の実施。 ・引き続き個体数調査を実施し、寺家ふるさと村四季の家のミヤコタナゴの個体数の確認、池の清掃の実施。 ・茅ヶ崎公園自然生態園にて、かいぼりを実施。 ・ミヤコタナゴ保護育成検討会を開催し、環境省作成のミヤコタナゴ保護指針にあわせたロードマップ案の検討。
	2 埋蔵文化財調査の実施	2-1	★	工事等に伴う発掘調査の実施と出土文化財の再整理	-	教育委員会事務局				・市内該当地区において、記録保存のため発掘調査を実施。 ・埋蔵文化財センターにおいて、出土文化財の保管状況を改善するため再整理作業を実施。（約500箱）	引き続き、工事等に伴う発掘調査及び出土品等再整理作業を実施。
		2-2		個人住宅建築に伴う発掘調査の実施	-	教育委員会事務局				発掘調査に至る案件がなかったため未実施	対応が必要な案件について発掘調査を実施。
		2-3		埋蔵文化財包蔵地外の試掘・確認調査の実施	-	教育委員会事務局				埋蔵文化財包蔵地外の市内該当地区において、試掘・確認調査を実施。	旧米軍関係施設及び大規模区画整理事業等で試掘・確認調査を実施予定
		2-4		重要遺跡等の試掘・確認調査の実施	-	教育委員会事務局				未実施	調査対象となる重要遺跡等について洗い出しを行う。
		2-5		埋蔵文化財の取扱いに関する周知	-	教育委員会事務局				過年度に掲載した手引きを、引き続き掲載。	手引きの内容について制度改正等修正する必要がある際には、随時更新

第 1 期 横浜市文化財保存活用地域計画 【令和 7 年度 取組・関連取組一覧（兼振返りシート）】

3つの目指す姿と課題		施策	取組番号	重点取組	主な取組	関連取組名	主管区局	関係区局	関係区局	関係区局	①R7年度 取組実績	②次年度 取組予定
	3	制度による保護の推進	3-1	★	文化財保護法・条例と歴史を生かしたまちづくり要綱の連携した運用による保護の推進	-	教育委員会事務局	都市整備局			・都市整備局と情報共有を行い、歴史的建造物の所有者へのヒアリング等の支援 （歴史的建造物の所有者宅へ都市整備局と訪問、都市整備局から情報提供のあった歴史的建造物について国の有形登録文化財（建造物）登録手続き） ・歴史的風致維持向上協議会等の会議への参加や、振返りの資料作成に協力し、連携を図った。	・都市整備局と随時情報共有を行い、歴史的建造物の所有者へのヒアリング等の支援 ・歴史的風致維持向上協議会等の会議への参加や、振返りの資料作成に協力し、引き続き連携していく。
			3-1			横浜能楽堂大規模改修	にぎわいスポーツ文化局				工事の完了	なし
			3-1			大倉山記念館の維持管理、修繕	にぎわいスポーツ文化局				大倉山記念館内の毎日点検、不具合箇所の確認。	大倉山記念館内の毎日点検、不具合箇所の確認。
			3-2		名木古木の保存	-	みどり環境局				・新規指定樹木 3件 ・維持管理等の助成 49件	・新規指定樹木の公募（6月まで） ・維持管理等の助成
			3-3		保存（保全）活用計画の作成の推進	-	各区局	教育委員会事務局	都市整備局		-	-
			3-3			所有者が作成する保存活用計画等の作成支援	教育委員会事務局				重要文化財関係家住宅の保存活用計画改訂	-
			3-3			国史跡三殿台遺跡の保存活用計画の作成	教育委員会事務局				遺跡のあり方について検討	引き続き、遺跡のあり方について検討
			3-3			国重要文化財・横浜市開港記念会館の保存活用計画の作成	市民局	中区	教育委員会事務局		保存活用計画の策定	-
			3-3			「こども自然公園のゲンジボタル及びその生育地」の保全活用計画の作成	みどり環境局	教育委員会事務局			ホテルの頭数確認及び環境調査を実施	頭数が増加傾向にあるため、引続き環境調査を実施し、それを基に管理作業を行っていく。
			3-3			保全活用計画の作成	都市整備局				横浜市認定歴史的建造物の保全活用計画の作成：3件	引き続き制度運用
						国指定名勝三溪園の保存活用計画の作成	にぎわいスポーツ文化局	教育委員会事務局			・三溪園名勝整備委員会の専門部会である活用検討部会における検討 ・R8.3名勝三溪園保存活用計画策定	—
			3-4	★	新たな財源確保	-	教育委員会事務局				国や民間企業等からの補助金情報を、随時市ホームページへ掲載。	引き続き、国や民間企業等からの補助金情報を、随時、市ホームページへ掲載。
			3-5		所有者アンケート等による定期的な現状把握	-	教育委員会事務局				文化財所有者等に対し、アンケートを実施。	隔年実施のため、実施予定なし。
	4	文化財の防災対策	4-1	★	文化財を対象とした防災訓練の実施	-	消防局	教育委員会事務局			（指標一覧参照）	（指標一覧参照）
			4-2	★	文化財防災マニュアルの作成	-	教育委員会事務局	消防局			内外関係者に協力を仰ぎ防災ハンドブックを作成。	ハンドブックの印刷配布、HP掲載により所有者へ周知する。
			4-3	★	市内の史跡等の崖地対策工事等の実施	-	教育委員会事務局				（指標一覧参照）	（指標一覧参照）
	5	収蔵施設の整備	5-1	★	出土文化財の収蔵場所と博物館の収蔵スペースの確保	-	教育委員会事務局				埋蔵文化財センター及び博物館等の収蔵場所確保に向けて、 （公財）横浜市ふるさと歴史財団と連携し、廃校等の施設の活用を検討したほか、収蔵場所の整理を実施した。	（公財）横浜市ふるさと歴史財団に収蔵量等の現状を確認しながら、引き続き、収蔵場所の確保に向けた検討・調整を進める。

第 1 期 横浜市文化財保存活用地域計画 【令和 7 年度 取組・関連取組一覧（兼振返りシート）】

3つの目指す姿と課題	施策	取組番号	重点取組	主な取組	関連取組名	主管区局	関係区局	関係区局	関係区局	①R7年度 取組実績	②次年度 取組予定		
いかす 多様な主体により、様々な視点で文化財が生かされている姿 〔課題〕 ・文化財への理解の促進と価値に配慮した活用が必要 ・文化財に触れ、親しみをを感じる機会の創出が必要	方針2 文化財の特性に応じた活用の推進	6	歴史文化を身近に感じ、学ぶ機会の充実	6-1	博物館等の管理・運営	-	教育委員会事務局				・第4期指定管理者の選定 ・指定管理施設の長寿命化工事、その他老朽化等に伴う修繕工事等を実施。	所管施設の管理・運営を引き続き行うとともに、老朽化等による不具合が発生している箇所について、修繕等の対応	
				6-2	市内の史跡等の公開・管理	-	教育委員会事務局				各施設の劣化状況等を確認した。	引き続き劣化状況の確認を随時実施する。	
				6-3	文化財を活用した学校教育への支援	-	教育委員会事務局	教育委員会事務局			出前授業の実施（11校）	引き続き、出前授業の実施	
				6-4	市史資料等の保存活用	-	総務局				・室内展示の開催（1回） ・レファレンス、資料の閲覧等 ・資料等特別利用承認	・室内展示の開催（3回） ・レファレンス、資料の閲覧等 ・資料等特別利用承認 ・広報紙の発行	
				6-5	地域の歴史講座、講演会等の実施	-	各区局				-	-	
				6-5		金沢を知る講演会	金沢区				神奈川県立金沢文庫にて、講師をお呼びし、金沢を知る講演会「都市・鎌倉の盛衰―逃げ上手の時の足跡をたどって―」の開催。（来場者：58名）	R8年度も講演会を開催。	
				6-5		金沢区民のための歴史講座	金沢区				神奈川県立金沢文庫にて、金沢区民のための歴史講座「ダルマさんは日本に来たのか？―中世禅宗の実像を探る―」の開催。（来場者：49名）	R8年度も講座を開催。	
				6-5		港北区内の小学校向けの普及啓発事業	港北区				区内小学校へ出張授業（3回）	区内小学校へ出張授業（2回）	
				6-5		小机城址に関する動画の作成・公開	港北区				動画のHPでの公開	動画のHPでの公開	
				6-5		青葉のあゆみ歴史探訪講座 青葉のあゆみ歴史講演会	青葉区				【青葉のあゆみ歴史探訪講座】 青葉区域の郷土史にちなんだ歴史講座及び歴史探訪を実施。実施回数全8回連続講座（歴史講座4回、歴史探訪4回） 参加者数：68名 【歴史講演会】 青葉区域の郷土史にちなんだ講演会を実施。実施回数2回単発講座 参加者数：107名	【青葉のあゆみ歴史探訪講座】 青葉区域の郷土史にちなんだ歴史講座及び歴史探訪を実施。実施回数全8回（歴史講座4回、歴史探訪4回） 【歴史講演会】 青葉区域の郷土史にちなんだ講演会を実施。実施回数1回	
				6-6	国指定重要文化財の特別公開	-	教育委員会事務局				-	-	
				6-6		関家住宅特別公開事業	教育委員会事務局				11月16日に所有者や（公財）横浜市ふるさと歴史財団学芸員、横浜国立大学の協力を得て、国指定重要文化財関家住宅の特別公開を実施	11月頃に関家住宅特別公開を実施	
				6-7	★	博物館における普及啓発、体験事業の充実	-	教育委員会事務局				博物館等において、指定管理者によるイベントの企画・開催。企画展について、市ホームページ等に掲載し周知の支援。	引き続き指定管理者によるイベントの企画・開催。企画展について、市ホームページ等に掲載し周知を支援。
				6-7			-	港湾局				戦後80年の節目の年に、日本語記載の航海日誌のデジタルデータ等の公開、帆船日本丸の戦時中の活動についてパネル展示の開催	平成を彩った客船を紹介する「平成の横浜港客船コレクション」（仮称）を開催、加えて客船に関する写真等について展示の実施

第1期 横浜市文化財保存活用地域計画 【令和7年度 取組・関連取組一覧（兼振返りシート）】

3つの目指す姿と課題		施策	取組番号	重点取組	主な取組	関連取組名	主管区局	関係区局	関係区局	関係区局	①R7年度 取組実績	②次年度 取組予定
			6-8	★	横浜市歴史博物館の展示リニューアル検討	-	教育委員会事務局				第4期指定管理者の選定	引き続き指定管理者と協力し検討。
			6-9		史跡三殿台遺跡の再整備にむけた検討	-	教育委員会事務局				遺跡のあり方について検討	引き続き、遺跡のあり方について検討
		7 地域活動の活性化	7-1		地域、関係団体等の協働による文化財の活用	-	各区局				-	-
			7-1			旧川合玉堂別邸（園庭緑地）保全活用事業	金沢区	教育委員会事務局			・定期開園（12回）及び特別開園（1回）実施（利用者数：1,116人） ・樹木剪定・伐採3件実施、管理棟修繕1件実施	・昨年度同様に定期開園及び特別開園を実施 ・安全管理のための樹木剪定・伐採
			7-1			篠原城址の活用検討	港北区				小机城址ガイドマップ内に篠原城の歴史や、篠原城関係団体のホームページに掲載したものを、区役所や城郷の地区センターに通年配架。関係団体が作成した篠原城紹介パンフレットをお城EXPOで配架。	小机城址ガイドマップ内に篠原城の歴史や、篠原城関係団体のホームページに掲載したものを、区役所や城郷の地区センターに通年配架。関係団体が作成した篠原城紹介パンフレットをお城EXPOで配架。
			7-2		文化財に関する活動への支援	-	各区局				-	-
			7-2			緑区遺産の登録事業（緑区遺産来訪者向け案内物設置に関する補助金）	緑区				新規登録1件、補助金支出2件	緑区遺産の発信に取り組む
			7-2			地域文化財総合活用推進事業（文化芸術振興費補助金）を活用した活動支援	教育委員会事務局				・例年本補助金を活用している保土ヶ谷こども歌舞伎と、新たに本補助金の活用要望があった折本囃子連に対して、補助金書類作成の支援を実施。 ・文化庁等に対し、補助金の申請等の実施。	・引き続き地域文化財総合活用推進事業（文化芸術振興費補助金）の活用要望があった団体への補助金書類作成支援を実施。 ・文化庁・県・補助事業者と調整の上、補助金申請手続きを実施。
			7-3		地域の文化財を活用したイベント等の実施、散策ルートの設定や案内板の整備	-	各区局				-	-
			7-3			港北オープンガーデン	港北区				・第13回港北オープンガーデンの開催（参加会場144か所、来場者数延べ42,936人）と第14回の企画 ・イベント開催記者発表、参加会場交流会の実施 ・パンフレットを作成し、区ウェブサイトへ掲載、地区センターや地域ケアプラザ等へ配架	・令和8年度「第14回港北オープンガーデン」の開催（参加会場147か所、来場者数延べ48,250人）と第15回の企画 ・イベント開催記者発表、参加会場交流会の実施 ・パンフレットを作成し、区ウェブサイトへ掲載、地区センターや地域ケアプラザ等へ配架
			7-3			区内の史跡等をめぐるウォーキングガイド	旭区				ガイドボランティア実施事業への後援（広報等への協力）	ガイドボランティア実施事業への後援（広報等への協力）
			7-3			旧東海道・歴史史跡等を活用したイベントの実施	神奈川区				実施日：11月22日（土） イベント内容：重ね捺しスタンプラリー、お寺等での飲食、ステージイベント等 参加者：延べ1600人	旧東海道・歴史史跡等を活用したイベントを秋頃実施
			7-3			歴史の道ガイドパネル等の更新	神奈川区				劣化した歴史の道ガイドパネルの更新	更新作業は令和7年度で終了 随時、補修対応
			7-3			神奈川台場に関するデジタルコンテンツの作成及び活用	神奈川区	都市整備局	にぎわいスポーツ文化局	教育委員会事務局	公益社団法人神奈川台場地域活性化推進協会と市が協定を締結し、神奈川台場に関するVR、AR、郷土学習映像を作成	神奈川台場のVR、AR、郷土学習映像等の活用
			7-3			称名寺のライトアップ	金沢区				ライトアップ実施。（10日間、来場者：2,666人） 散策ルートの一つとして一定の集客があった。	区域内の称名寺の散策ルートを活かし、称名寺のライトアップを行います

第1期 横浜市文化財保存活用地域計画 【令和7年度 取組・関連取組一覧（兼振返りシート）】

3つの目指す姿と課題		施策	取組番号	重点取組	主な取組	関連取組名	主管区局	関係区局	関係区局	関係区局	①R7年度 取組実績	②次年度 取組予定
			7-3			区内のみどりと花を巡るウォーキング	都筑区				1回目：新治市民の森（場所）・59人（参加者） 2回目：折本・東方農専地区（場所）・31人（参加者）	R8年度も予算要求し、イベントを年1回実施
			7-3			つまみ夢ひろばin総持寺	鶴見区				10/26（日）に鶴見夢ひろばin総持寺実行委員会が主催でイベントを実施。（参加者数：約9000人）	R8年度もイベントを実施予定だが日付未定。
			7-3			磯子七福神めぐり	磯子区				令和8年1月4日（日）実施 参加者：259人	令和9年1月10日（日）実施予定
			7-3			歴史を生かしたまちづくり（イベント実施）	戸塚区				2025とつか宿場まつり 10/29（土）・30（日）開催 （参加者数：1590人）	年1回開催 R8年度は10/24（土）・25（日）開催
			7-3			旧東海道の道案内看板の設置	戸塚区				引き続き設置	引き続き設置
			7-3			保土ヶ谷歴史まちあるき	保土ヶ谷区	水道局			・歴史的建物や遺構を巡るガイドツアー及びフリーウォークの開催。 【ガイドツアー】参加者数84人（申込170人） 【フリーウォーク】3日間開催。横浜ウォーキングポイントスタンプイベント参加者数延べ270人 ・連携企画とし、水道局施設整備課による「西谷浄水場創設時の歴史的建造物の一般公開」を実施。来場者数延べ100人	R8年度も予算要求し、同まちあるきイベントを開催
			7-3			西区虫の音を聞く会（万灯・ぼんぼりの灯火のもと茶会の開催、琴・尺八の演奏等の区民交流）	西区				虫の音を聞く会開催 （参加者数：延べ6,000人）	虫の音を聞く会開催予定
			7-3			ウォーキングイベント（区内の神社仏閣・史跡巡り）	瀬谷区				ウォーキングイベント（区内の神社仏閣・史跡巡り）の実施（8回、参加者数：485人）	ウォーキングイベント（区内の神社仏閣・史跡巡り）の実施
		8 歴史を生かしたまちづくり	8-1		歴史を生かした都市空間の形成	-	都市整備局	都市整備局	都市整備局		認定歴史的建造物の認定：3件	引き続き制度運用
			8-2		谷戸の原風景の保全	-	みどり環境局	みどり環境局	みどり環境局	みどり環境局	横浜ふるさと村、舞岡公園、新治市民の森を良好に維持し景観を保全	横浜ふるさと村、舞岡公園、新治市民の森を良好に維持し景観を保全
			8-3		歴史的建造物の保全活用に係る支援	-	都市整備局				認定歴史的建造物に対する保全活用助成：7件 リノベーション助成：1件 維持管理助成：27件	引き続き制度運用
			8-4		公園内における歴史的建造物の公開・活用	-	みどり環境局				古民家や西洋館などの歴史的建造物を公園内で公開し、公園の魅力とともに、地域の歴史や自然を感じる機会を創出。	引き続き、古民家や西洋館などの歴史的建造物を、民間の活力を活用しながら公園内で公開し、市民や来場者が公園の魅力とともに、地域の歴史や自然を感じる機会を創出。
			8-4			神奈川県指定重要文化財太田家住宅の（仮称）旧上瀬谷通信施設公園内への移築復原	脱炭素・GREEN×EXPO推進局				・有識者懇談会の開催 ・移築復原工事の実施	・引き続き、移築復原工事の実施
			8-5		震災復興橋梁の保全	-	道路・交通政策局				・西区霞橋灯具の復元工事の実施 ・道慶橋の補修工事の実施（R6から継続）	-

第1期 横浜市文化財保存活用地域計画 【令和7年度 取組・関連取組一覧（兼振返りシート）】

3つの目指す姿と課題		施策	取組番号	重点取組	主な取組	関連取組名	主管区局	関係区局	関係区局	関係区局	①R7年度 取組実績	②次年度 取組予定
			8-6		遊休不動産の創造的活用（芸術不動産）	-	にぎわいスポーツ文化局				「芸術不動産ガイドブック」等により、遊休不動産の魅力的な活用事例を伝えるとともに、芸術不動産推進機構が相談窓口となり、アーティストやクリエイターなどと不動産オーナーとのマッチングを通じて、遊休不動産の創造的活用の推進。	引き続き、芸術不動産推進機構が中心となり、遊休不動産の創造的活用のを推進。
			8-7		創造界限拠点としての活用	-	にぎわいスポーツ文化局				関内・関外地区をはじめとする都心臨海部の歴史的建造物等を創造的活動の拠点として活用し、まちの賑わいづくりを進めた。	引き続き、都心臨海部の歴史的建造物等の創造的活用を通じて、まちの賑わいづくりを進める。
			8-8	★	歴史的風致維持向上計画の策定検討	-	都市整備局	各区局			横浜市歴史的風致維持向上計画の運用	同計画の運用
		9 文化財を活用した文化芸術活動	9-1		文化財を活用した文化芸術活動	-	にぎわいスポーツ文化局				旧染井能舞台（横浜能楽堂）については、横浜能楽堂が大規模改修工事で休館中であるため未実施。	旧染井能舞台（横浜能楽堂）については、令和8年6月末に横浜能楽堂が再開館するため、公演や施設見学会を実施。
			9-1			-	各区局				-	-
			9-1			「狂言と能の出前講座」の実施	西区				小学校への出前講座実施（3校）	横浜能楽堂再開館に伴い、一般向けに横浜かもんやま能開催予定
			9-1			称名寺薪能	金沢区				称名寺境内において、能や狂言の舞台である「第28回称名寺薪能」の開催。（来場者：1,307人）	称名寺境内において、歴史文化の魅力を感じつつ、能や狂言の鑑賞などの古典芸能に親しむ機会を創出します。
			9-1			大塚・蔵勝土遺跡公園や横浜市歴史博物館における音楽コンサート等の文化芸術活動の開催	教育委員会事務局				・11/23に、横浜歴博もりあげ隊によるバロックコンサートを1回開催。 ・3/12～14に、つづき地域活動ホームくさぶえと、つづきアート&ミュージックネクストを1回開催。	地域の団体と連携し、前年同様に開催を予定。企画については横浜市歴史博物館等のホームページへ掲載し、周知。
		10 文化財を活用した賑わい創出	10-1	★	横浜開港資料館における文化観光拠点としての機能強化	-	教育委員会事務局				文化観光拠点計画の最終年度として、資料のデジタル化を推進。旧館2階の新展示室の改修や、緑化整備工事を実施。	文化観光拠点計画は終了したが、今後は整備した展示室等の資源を活用し、一層魅力ある施設としての運用開始。
			10-2	★	横浜美術館における文化観光拠点としての機能強化	-	にぎわいスポーツ文化局				「文化観光拠点計画（文化庁認定）」はR6年度で終了したが、 「横浜美術館美術資料の画像公開推進事業」及び「多言語による美術作品情報提供推進事業」については継続して実施した。 ・「おかえり、ヨコハマ展」、「佐藤雅彦展」、「いつもとなりにいるから展」の3本の企画展及びコレクション展を実施。 ・その他幅広い世代、属性に向けた教育普及事業を実施。	・「横浜美術館美術資料の画像公開推進事業」及び「多言語による美術作品情報提供推進事業」については継続して実施 ・企画展は「今村紫紅展」、「毛利悠子展」及び「マリー・アントワネット・スタイル展」を実施 ・教育普及事業についても継続して実施
			10-3	★	横浜港に関する文化財を活用した賑わい創出	-	港湾局				総帆展帆を年12回実施 青少年錬成のための「海洋教室」等の開催	総帆展帆を年12回実施 青少年錬成のための「海洋教室」等を開催
			10-4	★	三溪園における観光資源としての磨き上げ	-	にぎわいスポーツ文化局				・桜のライトアップ、観蓮会、観月会、紅葉等、季節に応じた催事の実施 ・ふるさと納税返礼品としてお食事会等の高付加価値体験コンテンツを実施	・紅葉ライトアップの再開 ・各催事の磨き上げ ・「神奈川・横浜デスティネーションキャンペーンブレキャンペーン」特別企画の実施

第1期 横浜市文化財保存活用地域計画 【令和7年度 取組・関連取組一覧（兼振返りシート）】

3つの目指す姿と課題	施策	取組番号	重点取組	主な取組	関連取組名	主管区局	関係区局	関係区局	関係区局	①R7年度 取組実績	②次年度 取組予定
つながる 文化財を核として、多様なコミュニティやつながりが生まれている姿 〔課題〕 ・情報発信の充実が必要 ・新たな担い手や守り手の創出が必要 ・文化財の保存・活用に関する相互連携・協力体制の整備が必要	方針3 多様な主体がつながる仕組みづくり										
	11 情報の公開・発信の強化	11-1		調査成果の公表、普及啓発	-	教育委員会事務局				・7、11月に文化財保護審議会の開催。 ・各部会を随時開催した（年5回） ・横浜市文化財調査概報を市ホームページへ掲載	・6、10月頃に文化財保護審議会の開催。 ・各部会を随時開催 ・横浜市文化財調査概報（横浜の文化財 三十）の作成、ホームページへ掲載
		11-2		歴史文化に関する情報発信、広報	-	各区局				-	-
		11-2			広報よこはま（市版）を活用した情報発信	政策経営・国際戦略局				広報よこはまへ掲載	広報よこはまへ掲載
		11-2			広報番組を活用した情報発信	政策経営・国際戦略局				市広報テレビ・ラジオ番組で紹介	市広報テレビ・ラジオ番組で紹介
		11-2			ふるさと港南のまち自慢ガイドブック、デジタルマップ	港南区				市ホームページへ掲載。 変更があった場合は適宜更新	市ホームページへ掲載。 変更があった場合は適宜更新
		11-2			（歴史）ウォーキングマップの発行	港北区				増刷（6,500部）、港北観光協会ホームページへ掲載	増刷（部数未定）、港北観光協会ホームページへ掲載
		11-2			小机城址ガイドマップ	港北区				内容更新、増刷（10,000部）	増刷（部数未定）
		11-2			歴史マップ等有償刊行物の販売	栄区				3種類の刊行物を販売。 販売数 栄区郷土史ハンドブック57冊 栄区歴史散策マップ124冊 栄の歴史104冊	引き続き3種類の刊行物を販売
		11-2			瀬谷の史跡めぐりガイドブック	瀬谷区				「瀬谷ふるさと歴史さんぼ道」等を歩くと、「瀬谷の史跡めぐりガイドブック」を記念品として贈呈	「瀬谷ふるさと歴史さんぼ道」等を歩くと、「瀬谷の史跡めぐりガイドブック」を記念品として贈呈
		11-2			瀬谷ふるさと歴史さんぼ道（ガイドマップ）	瀬谷区				瀬谷ふるさと歴史さんぼ道ガイドマップの配布	瀬谷ふるさと歴史さんぼ道ガイドマップの配布
		11-2			『図説 都筑の歴史』	都筑区				全ての販売場所です完売。市内の図書館で閲覧・貸出可能。	引き続き市内の図書館で閲覧・貸出可能。
		11-2			『図説 都筑の歴史』ナナメ読み新聞	都筑区				市ホームページより閲覧可能。	引き続き市ホームページより閲覧可能。
		11-2			都筑区水と緑の散策マップ	都筑区				令和6年6月に区制30周年を節目にリニューアル版を発行し、区役所売店や市役所内市政刊行物コーナーで販売。	令和8年度も引き続き区役所売店や市役所内市政刊行物コーナーで販売。
		11-2			「旧東海道戸塚宿の歴史を歩く散策マップ」「戸塚の古道 鎌倉道の歴史を歩く散策マップ」	戸塚区				2種類の歴史関連散策マップの配布を継続 ・旧東海道散策マップ7,000部 ・鎌倉道散策マップ6,500部	旧東海道・鎌倉道2種類の散策マップを増刷し、配布を継続
		11-2			「戸塚の歴史まるわかりBOOK」の発行	戸塚区				戸塚の歴史の入門書としてR7.9発行 小学校や区内施設、イベント等で23,000部配布	増刷し配布継続
		11-2			「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」の発行	中区				・区内に点在する「もののはじめ」や横浜開港の歴史を伝える碑を紹介する街歩きマップ「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」の配布。 ・絵地図を活用したイベント「平和祈念碑が語る横浜大空襲の記憶」の実施（参加者数14名）	・「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」の配布。 ・絵地図を活用したイベントの実施。
		11-2			散策ルート「温故知新のみち」活用（ガイドツアー、イベント）、周知	西区				散策マップの配布	散策マップの配布等
		11-2			情報誌「ふるさと西区」の発行	西区				情報誌「ふるさと西区」発行（発行数：4,000部）	情報誌「ふるさと西区」発行予定
		11-2			まち歩きマップの発行	西区				市ホームページへの公開、西区役所での配布	市ホームページへの公開、西区役所での配布

第 1 期 横浜市文化財保存活用地域計画 【令和 7 年度 取組・関連取組一覧（兼振返りシート）】

3つの目指す姿と課題		施策	取組番号	重点取組	主な取組	関連取組名	主管区局	関係区局	関係区局	関係区局	①R7年度 取組実績	②次年度 取組予定
			11-2			横浜南区ガイドマップの発行、京急主要駅及びPRボックス等への配架	南区				発行回数：1回	横浜南区ガイドマップの発行、京急主要駅及びPRボックス等への配架
			11-2			青葉区制30周年記念『よこはま青葉の歴史を歩く～7つの探訪コース』制作・販売	青葉区				令和6年6月に販売開始し、有償販売は令和6年12月に終了したが、区内図書館や区民利用施設の図書コーナー等で引き続き配架・貸出（一部閲覧のみ）。	有償販売は終了したが、区内図書館や区民利用施設の図書コーナー等で引き続き配架・貸出（一部閲覧のみ）。
			11-2			畠山重忠公に関する冊子	旭区				区役所、区民利用施設にて配布を継続	区役所、区民利用施設にて配布を継続
			11-2			畠山重忠公に関する啓発物品の作成	旭区				重忠あさひくんを含むシールを区民に配付	重忠あさひくんを含むシールを区民に配付
			11-2			歴史ガイドマップの内容更新・配布	神奈川区				歴史ガイドマップの内容更新作業・配付	歴史ガイドマップの配付
			11-2			「ほどがや散策ガイド」の発行	保土ケ谷区				区役所にて配架	区役所にて継続配架
			11-2			昔ばなし紙芝居作成、YouTubeでの公開	港北区				動画の公開	引き続き公開
			11-2			新・あさひ散歩（ウォーキングMAP冊子）	旭区				旭区観光協会にて区民利用施設で販売を継続	旭区観光協会にて区民利用施設で販売を継続
			11-2			広報誌「ぐるっと」の発行	交通局				歴史文化に関する情報を組み込んだ広報誌の発行。	歴史文化に関する情報を組み込んだ広報誌の発行。
			11-2			「横浜水道130年史」の発行	水道局				水道事業の記録集・資料集として引き続き市ホームページで公開及び市立図書館で配架・貸出	水道事業の記録集・資料集として引き続き市ホームページで公開及び市立図書館で配架・貸出
			11-2			伝承プロジェクト「磯子の祭景」（DVD作製）の活用	磯子区				磯子文化資源発掘隊（地域の街歩き）で活用	引き続き、地域の情報収集時の参考資料として活用
			11-2			泉伝統文化保存会の活動紹介を目的としたチラシ、ポスターの作成やデジタル媒体での広告掲載	泉区				・伝統文化イベントのポスター・チラシの作成 ・伝統文化イベントのデジタル広告の制作・放映 ・伝統文化のパネル展示を実施 ・広報よこはま泉区版での特集記事の掲載	・伝統文化イベントのポスター・チラシの作成 ・伝統文化のデジタル広告の制作・放映 ・伝統文化のパネル展示を実施 ・広報よこはま泉区版での特集記事の掲載
			11-3		関連文化財群を活用した情報発信、広報	-	教育委員会事務局				R6年度に作成したコンテンツを活用した情報発信、広報の実施。	R6年度に作成したコンテンツを活用した情報発信、広報の実施。
			11-4		博物館の収蔵資料のデジタル化と公開	-	教育委員会事務局				デジタルアーカイブに搭載可能な高精細のデジタル撮影を実施。デジタルアーカイブサイトの検索機能の追加。	指定管理施設において、文化庁の補助金を得て、引き続き、資料のデジタル化やデジタルアーカイブサイト公開の推進。
			11-4			横浜水道アーカイブス	水道局				水道施設等の歴史的写真を引き続き市ホームページで公開	水道施設等の歴史的写真を引き続き市ホームページで公開
			11-5	★	文化財に関するホームページの充実	-	教育委員会事務局				横浜市文化財調査概報を市ホームページへ掲載。民俗関連の情報を掲載。	引き続き、掲載内容の検討および随時更新。

第 1 期 横浜市文化財保存活用地域計画 【令和 7 年度 取組・関連取組一覧（兼振返りシート）】

3つの目指す姿と課題	施策		取組番号	重点取組	主な取組	関連取組名	主管区局	関係区局	関係区局	関係区局	①R7年度 取組実績	②次年度 取組予定
	12	連携事業の推進と人材育成	12-1	★	博物館における連携事業の推進と人材育成		教育委員会事務局	各区局			-	-
			12-1			市民と協働による茅の確保と茅葺屋根の維持管理	教育委員会事務局				・旧横溝家住宅の茅葺屋根葺き替えに際し、文化財保護審議会委員の現地視察を実施。 ・旧矢筈原家住宅の修繕工事にあたり、茅葺屋根葺き替えを実施中（R8年度も継続）。国・県補助事業手続きの支援を行った。 ・歴史博物館のかやぶき屋根プロジェクトとして、大塚遺跡の竪穴住居の茅屋根について担当者による軽いメンテナンスを実施した。	・旧矢筈原家住宅の修繕工事にあたり、茅葺屋根葺き替えを実施中。国・県補助事業手続きの支援を行う。
			12-1			小机城址に関する連携事業	港北区	教育委員会事務局			・区内小学校への出張授業（3回） ・お城EXPO（財団）への出展 ・横浜市歴史博物館にて企画展「北条幻庵」の開催	・区内小学校への出張授業 ・お城EXPO（財団）への出展
			12-1			区内の横浜市登録歴史的建造物の関連作品寄贈に向けた連携	南区				作品搬出：4回	作品搬出：複数回予定
			12-2		地域の歴史文化を次世代に伝える連携事業の推進と人材育成	-	各区局				-	-
			12-2			泉伝統文化保存会（横浜いずみ歌舞伎・太鼓お囃子・相模風）の活動支援	泉区				・いずみ相模風揚げ会、泉区太鼓・お囃子フェスティバル、横浜いずみ歌舞伎公演を共催 ・小・中学校向けの体験授業実施への協力等	伝統文化イベントを共催・後援等をして実施、小・中学校向けの体験授業実施への協力
			12-3	★	文化財行政を担う職員の人材育成	-	教育委員会事務局				・文化財課職員の文化庁行政講座及び国宝・重要文化財（美術工芸品）防災・防犯対策研修会等の受講による知識の取得	文化庁や県が実施する文化財の保存・活用に関する研修の受講による、文化財課職員の知識の向上

※博物館…横浜市教育委員会が所管する、横浜市歴史博物館、横浜開港資料館、横浜都市発展記念館、横浜ユーラシア文化館、横浜市三殿台考古館、横浜市八聖殿郷土資料館、埋蔵文化財センターを指す。